

- ▶ 大牟田市では不在地主の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組みを進め、森林整備を推進する方針。
- ▶ 令和2年度において、以下の取組みにより、森林の有する公益的機能の発揮につなげた。
  - 荒廃した市有林（0.83ha）の間伐等を実施した。
  - 大牟田市の地域森林計画対象森林1,762ha（※5）のうち、人工林の211ha（※5）を対象とした意向調査を円滑に実施するため、意向調査準備作業を民間事業者へ委託を行った。
- ▶ 次年度以降は計画に沿った意向調査を行い、併せて森林の土地境界を明らかにする検討が必要となっている。

□ 事業内容

1 間伐等の森林整備の実施

- 私有林のほとんどが国土調査未了地であるため、私有林の間伐実施区域を決定するまでの間、森林整備を進めるため、市有林の間伐等整備を実施。

【事業費】 618.2千円（全額譲与税）

【実績】 間伐0.83ha



（間伐実施前）



（間伐実施後）

2 森林所有者への意向調査準備の実施

- 意向調査の対象森林、対象者の把握するための意向調査準備業務委託を行い、意向調査実施計画の策定を行った。

【事業費】 2,508千円（全額譲与税）

【実績】 地区ごとの年次計画の策定（1,762ha（※5））

※5：「2020農林業センサス」より

□ 事業スキーム

1 間伐等の森林整備の実施



2 森林所有者への意向調査準備の実施



□ 工夫・留意した点

- 本市の人工林は211ha（※5）であるが、今後災害対策における森林の在り方や、森林境界明確化など、本市の森林施策に活かせるデータ作成は、地域森林計画対象森林全体とし、国土調査完了地区、災害危険地区、市有林の割合等をもとに意向調査の年次計画等を定めた。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	10,288千円
②私有林人工林面積（※1）	275ha
③林野率（※2）	21.5%
④人口（※3）	117,360人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3，4：「H27年国勢調査」より

- ▶ 令和3年度に日本初『動物園内にある絵本美術館』のオープンに合わせ、多くの来園者に木の暖かみ、温もりを感じられる機会の提供を行うため、木製備品を導入した。
- ▶ 令和3年度以降も公共施設での木製備品導入を推進する。

## □ 事業内容

### 1 公共施設の木製備品導入事業

- 令和3年10月1日に大牟田市動物園内にオープンした『ともだちや絵本美術館』において木製備品等を導入。

【事業費】 5,951千円（全額譲与税）

- 【実績】 ・ どうぶつ家具：11台 ・ 室名サイン：一式  
 ・ 寄付者プレート棚：一式  
 ・ ともだちや（絵本読み聞かせ）ワゴン：1台  
 ・ 展示ケース：4台 ・ 木製棚：6台



↑ どうぶつ家具

↓ 室名サイン



↑ 寄付者プレート棚

↓ ともだちやワゴン



## □ 事業スキーム

- 絵本美術館空間演出に関する木製備品等調達



## □ 工夫・留意した点

- 絵本の世界に合わせた木の温もりをもたらす「空間演出」に必要な備品の調達を行うため、専門的知識を持った業者の選定を行った。

## □ 基礎データ

①令和2年度譲与額	10,288千円
②私有林人工林面積（※1）	275ha
③林野率（※2）	21.5%
④人口（※3）	117,360人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より



大牟田市  
ともだちや絵本美術館  
<https://tomodachiya.jp/>